



第11回 咲耶茶論

日時 場所

2025/1/25(土) 14:00～16:00

大阪大学箕面キャンパス4F 中講義室

(〒562-8678 大阪府箕面市船場東3-5-10)



申込用QRC



QCRの読み込みができない方は、咲耶会事務局にメールまたは電話で、お名前、専攻語、卒業年を、お知らせください。

email: sakuya@sfs.osaka-u-ac.jp

Tel: 072-728-2327 (月 木 のみ)

※参加は無料です！

ふくやま なーぎ

講師 福山泰海 氏  紹介 ～“インド”は家業という生立ち～

- ・実家は老舗40年のヨガ教室でインドとの文化交流が事業
- ・私はヒンディー語専攻 妻はウルドゥー語専攻
- ・現役サラリーマン37歳で3児の父

 学歴 ～外大入学 阪大卒～

- ・2006年 大阪外国語大学ヒンディー語科入学
- ・2008年 インド政府中央語学院 国費留学
- ・2011年 大阪大学外国語学部ヒンディー語専攻卒業

 職歴 ～インドで起業含め5年の勤務～

- ・2011年 株式会社エクセディ 入社
同年7月 EXEDY Clutch India Pvt. Ltd. 設立+出向
- ・2018年 芦森工業株式会社 転職
- ・2022年 パナソニック（オペレーショナルエクセレンス） 転職



演題 日本人墓地と日印交流の歴史

インド第2の都市ムンバイには日印国交樹立以前から日本人の墓地があります。最初の埋葬者は1891年に亡くなられた19歳の女性。国交も航路もない当時、彼女らは何を求めてインドを目指したのでしょうか。

日本とインドは両国首脳が毎年行き来する世界にも稀な強固な関係国です。しかし、この墓地の存在は私が卒論で扱うまで世間ではまとまった情報がありませんでした。

卒論発表から早14年。ある日、大学経由で連絡があり、私の卒論を見た日経新聞の記者が私をさがしている！とのことでした。その後、日経新聞に掲載され、それを見た駐印日本大使が日本人墓地に参拝されました。近い将来、日印両国首脳が参拝するやもしれません。